



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2008.12

No. 296

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



タカの渡り報告

バードウォッチャーの中でも、特にワシ・タカ大好きの人にとって、「空高し」の秋の空は気になって仕方ありません。そんな方々から、それぞれの報告をいただきました。ご紹介します。

1 埼玉県東松山市 物見山駐車場から 澤井 清(鳩山町)

2008年 9月 観察時間9:00~12:30

| 日 | 天候 | サシバ | ハチクマ | ツミ | その他 |
|----|--------|-----|------|----|----------------------|
| 1 | 曇、暑い | 0 | 0 | 0 | トビ、カッコウ類 |
| 2 | 曇~晴、暑い | 0 | 0 | 0 | 猛禽類出ず、ヒヨドリ |
| 3 | 晴、暑い | 7 | 0 | 1 | ノスリ、トビ、アマツバメ |
| 4 | 曇 | 1 | 0 | 0 | アマツバメ |
| 5 | 曇~晴 | 4 | 0 | 1 | ノスリ |
| 6 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 7 | 晴 | 1 | 0 | 1 | トビ2、ミサゴ1、オオタカ1 |
| 8 | 晴 | 8 | 1 | 0 | オオタカ1、ハイタカ1 |
| 9 | 晴 | 1 | 0 | 0 | ノスリ6、今日はノスリデー |
| 10 | 晴、北東涼風 | 0 | 0 | 0 | ノスリ2、タカ類1 |
| 11 | 晴、北東 | 9 | 0 | 0 | |
| 12 | 快晴、北風 | 0 | 0 | 0 | 猛禽出現せず、アマツバメ |
| 13 | 曇 | 1 | 3 | 0 | ヒヨドリ、カケス |
| 14 | 晴 | 1 | 0 | 1 | |
| 15 | 曇 | 2 | 1 | 0 | オオタカ、ノスリ、トビ |
| 16 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 17 | 晴 | 1 | 0 | 1 | オオタカ、ノスリ、トビ |
| 18 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 19 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 20 | 晴 | 1 | 0 | 0 | タカ類2 |
| 21 | 曇 | 0 | | 0 | オオタカ、ヒヨドリ18の渡り |
| 22 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 23 | 晴 | 44 | 0 | 0 | ミサゴ、ノスリ、オオタカ、カケス |
| 24 | 晴 | 15 | 2 | 0 | ノスリ、タカ類1 |
| 25 | 曇 | 20 | 0 | 0 | |
| 26 | 曇 | 0 | 0 | 0 | ハイタカ1、アマツバメ、ハリオアマツバメ |
| 27 | 晴、強風 | 10 | 1 | 0 | タカ類1、ハリオアマツバメ |
| 28 | 曇 | 0 | 0 | 0 | タカ類2 (埼玉県支部観察会) |
| 29 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 30 | 雨後曇り | | | | 観 察 中 止 |
| 計 | | 125 | 10 | 6 | |

2007年 9月

| 日 | 天候 | サシバ | ハチクマ | テコハヤブサ | その他 |
|----|------|-----|------|--------|-----------|
| 1 | | | | | 観 察 休 止 |
| 2 | 曇、涼風 | 1 | | | カケス3 |
| 3 | | 1 | | | |
| 4 | | 1 | | | |
| 5 | | | | | 観 察 休 止 |
| 6 | 晴 | 3 | | 1 | ハイタカ、トビ |
| 7 | | | | | 台風通過 |
| 8 | 曇 | 2 | | | オオタカ、ノスリ |
| 9 | 晴 | | | | カワウ、キセキレイ |
| 10 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 11 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 12 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 13 | 曇 | | 1 | | タカ類 |
| 14 | 曇 | 8 | | | ツミ |
| 15 | 晴 | 7 | 2 | 1 | オオタカ |
| 16 | 晴 | 3 | 1 | | カッコウ類 |
| 17 | 酷暑 | 2 | | | トビ |
| 18 | 曇 | 1 | 1 | | |
| 19 | 曇 | | | | ハヤブサ |
| 20 | 晴 | 8 | | | |
| 21 | 快晴 | 2 | | | トビ |
| 22 | 快晴 | 9 | | | 快晴 |
| 23 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 24 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 25 | 晴 | 4 | | | |
| 26 | 晴 | 7 | 1 | | |
| 27 | 曇、逆風 | 9 | 1 | | |
| 28 | 晴 | 7 | 2 | | |
| 29 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 30 | 雨 | | | | 観 察 中 止 |
| 計 | | 75 | 9 | 2 | |

(編集部 このような定点観測は、積み重ねる度に重要になります)

2 愛知県田原市 伊良湖岬から 小林昌夫(三郷市)

10月8~9日、伊良湖岬に行ってきました。前日は雨だったのですが、当日は雲ひとつ無い晴天に恵まれ、今年こそはタカ柱が飽きるくらい観察出来ると思ったのが運のつき、世の中そんなに甘くないぞとばかり1群も立たず、サシバ、ハチクマもチラホラ 50羽程度。その代わりタカならぬトビ柱が3群程見えました。ヒヨドリの大群もそれぞれ 200~500羽の群れで海を渡ってゆきました。これは壮観でした。

9月28日、10月3日には2,100羽程度も飛んだようです。旅館の主人も「今年は例年と比べて早くなっているようで、来年は9月末頃来られたらどうですか」と言



ってくれました。気の良い親父さんで、「折角遠いところまで来てくれたのに出なくて悪かったね」と言って、「帰りの新幹線で食べてください」とお菓子のお土産をくれました。

タカには恵まれませんでした。この宿の夕食は毎回素晴らしく、現地でしか食べられぬ獲れたての太刀魚の刺身、新鮮なアジ、イカ、名前は忘れましたが赤魚の煮付け、焼き大アサリなど舌鼓を打ちました。初めて行かれた方は、「この料理だけでも満足です」と言っておられました。

着いたばかりなのか、これから出発するのか、アサギマダラ（撮影：長嶋宏之）が大分飛んでいました。中には記号を付けたアサギマダラもいました。

3 長崎県五島市 大瀬崎から ハチクマの渡り 田中幸男(蓮田市)

NHKの『さわやか自然百景』は、私の好きな番組のひとつです。10月12日(日)は、「福江島」が舞台で、ご覧になったかたも多いのではないのでしょうか。その中でハチクマの渡りが紹介されておりました。それを見ながら、実際に見たときの感動を思い出し、寄稿しました。

ハチクマ。ジバチなどの蜂を餌のひとつにしていることからこの名がついたそうです。翼開長が1.2から1.3mあり、その飛んでいる姿は1羽でも壮観です。そのハチクマが、群れをなし渡ってゆく様子を、人から聞き、本で見えておりましたが、想像がつかせませんでした。

それを観察するチャンスが昨年9月末の大瀬崎（長崎県 五島列島の福江島の南西端）で、ついに訪れました。2度目のチャレンジでした。大瀬崎に着いたのは午後。着くとすぐ、間近を何度も何度も数十羽のハチクマが気流に乗り上昇、そして西の空に消えて行く（渡って行く）姿に感激。

ハイライトはそれから間もなくでした。概ね



400羽のハチクマが青空をバックにそれぞれが弧を描きどンドン舞い上がってゆく。まさしく“大きなタカ柱”！ その光景は感激を超え、驚愕でした。十数年現地で観察を続けているI氏もこれだけの数が一度に渡るのは珍しいとのことでした。

3日間の観察で何度もタカ柱を観察し、概ね3,000羽のハチクマを西の空に見送り、あわせて美味しい魚と数々の教会探訪もあり、忘れられない探鳥旅行となりました。

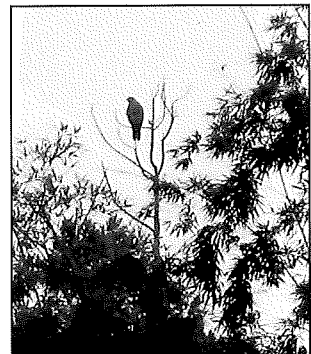


4 自宅近くの公園から

長嶋宏之(蓮田市)

これで、今季我が家の近くでのサシバは3羽目です。デジタルカメラで撮影したので、シルエットになってしまいました。散歩の人に双眼鏡を貸して見せてあげたら、タカが居ることに驚いていました。

渡りの季節は目が離せませんね。皆様のフィールドではいかがですか？



第2次県内野鳥分布調査 2008年度 シラコバトの生息

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

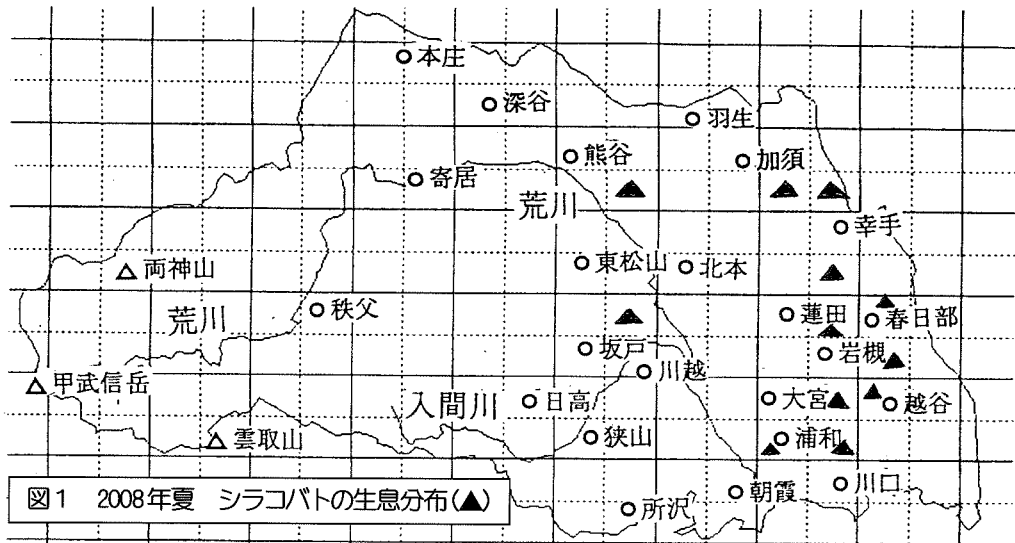


表1 調査概要

| |
|------------------------------|
| 調査期間…2008. 5. 10～2008. 7. 10 |
| 調査方法…調査はがきによるアンケート他 |
| 調査はがき…60通 |
| 調査メッシュ…60メッシュ(3次メッシュ) |

表2 注目種シラコバトの調査

| |
|--------------------|
| 調査はがき数…14通 |
| シラコバト存在メッシュ…12メッシュ |

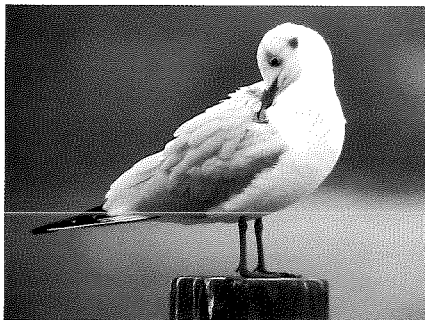
本調査は表1により実施された。本稿では今回の注目種、シラコバトを報告する。

シラコバトの生息12メッシュは、1985年～1990年の第1次調査(5年間の夏鳥積算データ)で得られた34メッシュと比較すると激減といえる。今回の結果は、1:25,000地形図を縦横4分割したメッシュで図1に示す。

繁殖期シラコバトは、県東部に辛うじて生息している状況と思われる。(小荷田行男)

冬鳥調査の注目種はユリカモメ!

日本野鳥の会埼玉県支部研究部



ユリカモメ(編集部)

県内全域を対象に、今季も冬の野鳥調査を実施します。2008年12月1日から2009年1月31日までの間、留鳥も含め、県内で観察されたすべての野鳥の種名と観察地点を、1月号に同封する調査はがきに記入してお送りください。

今回調査はがきの表面に記入していただく注目種はユリカモメです。川筋に沿ってよく見ることができましたが近年は…?

(石井 智、小荷田行男)



野鳥情報

春日部市立野 ◇8月26日、クサシギ2羽、タカブシギ4羽、コチドリ約15羽（鈴木紀雄）。

春日部市倉常 ◇8月26日、アオアシシギ4羽、タカブシギ1羽、クサシギ3羽、イソシギ1羽、コチドリ2羽。9月12日、アオアシシギ2羽、イソシギ5羽、トウネン3羽、タシギ1羽、タカブシギ1羽など。9月22日、ノビタキ3羽（鈴木紀雄）。

さいたま市緑区大門 ◇9月5日、セイタカシギ4羽、クサシギ2羽、イソシギ2羽（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇9月12日、久しぶりの文化公園、ムシクイ類がいたが、種類特定できず。9月17日、はるか上空を舞った後、南西へ流れるサシバ1羽。コムクドリの群れ。9月20日夕刻、元荒川上空付近で上流下流を行ったり来たりして飛んでいる猛禽1羽。翼がとがっていて、ハヤブサ類のよう。薄暗い中だったが、下腹部の赤と胸から腹の縦じま確認。渡り途中のチゴハヤブサ。9月22日、カッコウ類1羽、ヒタキ類3羽。どちらも識別できず。9月24日、ようやくコサメビタキ2羽、キビタキ♀3羽を確認。コサメビタキはミズキの実に寄っていた。9月25日、カケス2羽がフワフワ飛ぶ。今季初認。元荒川対岸のカルガモ群れ中にオシドリ♀、コガモ各1羽。カッコウ類1羽、サシバ1羽飛翔、キビタキ♀3羽。9月27日、元荒川対岸でマガモ♀1羽、エゾビタキ1羽、コサメビタキ2羽、キビタキ♀3羽。10月1日、エゾビタキ約5羽、キビタキ♀、コサメビタキ。10月6日、エゾビタキ1羽、キビタキ♀3羽。10月9日、カケス3羽が姿を見せる。ミズキの木にオオルリ♀1羽、キビタキ♀1羽。芝生広場の木々にエゾビタキ約10羽。エゾビタキは上の方を飛び、時折、地面に降りる。コサメビタキ1羽。10月11日、カッコウ類若鳥1羽のみ。10月13日、エゾビタキ約5羽。キビタキ♂1羽♀2羽、ツタとア

カメガシワの実にきていた。その他カケスなど。10月14日、エゾビタキ5羽、他のヒタキ類見つからず。カッコウ類若鳥1羽、すぐに飛んでしまう。元荒川を下流に飛ぶミサゴ1羽、ここで見るのは初めて。10月15日、エゾビタキ数羽、キビタキ♀も数羽、その他ヒタキ類不明種1羽。竹やぶからウグイスの笹鳴き。ようやくツツドリ成鳥をじっくり観察。時折カラスを気にしながら比較的大きな緑色の毛虫を食べていた（鈴木紀雄）。◇9月14日、元荒川でイソシギ1羽、ゴイサギ幼鳥1羽。9月27日、村国池でカワセミを見ていたら、アオサギが飛んできて梢にとまる。9月28日、南奥の林でエゾビタキ1羽、キビタキ♀1羽、ムシクイ類不明種1羽（藤原寛治）。◇10月20日、村国池手前水路に流れ込んでいる湧水溜？で正午頃水浴びをしているアトリのペアを確認できた。この場所では初確認かもしれない。ヒヨドリにじゃまされ動きが激しく鮮明な写真が撮れず残念（証拠写真のみ）。他にカケスが目立つ。ジョウビタキ♀、ヤマガラ、ホオジロ、シジュウカラ、メジロ、オナガ、モズ♂。10月9日正午頃、体育館東側芝生まわりの桜の木で虫をハンティングしているエゾビタキ10羽位確認出来た（大塚操）。

さいたま市岩槻区末田 ◇9月30日、田んぼでケリ3羽（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区野孫 ◇10月6日、田んぼでケリ6羽（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区箕輪 ◇10月9日、自動車運転中、上空の猛禽に気づき、車を止めて観察。大きい方に小さい方がつかかっているが、はるか上空。おそらくサシバとツミ（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区西町2丁目 ◇10月18日、エナガ8羽がシジュウカラと一緒に我が家のアンズの木に飛来し、しばらくエサを探していた（長野誠治）。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園 ◇10月5日、子供の森でアカゲラ♀1羽、カケス、キビタキ♂1羽、ヤマガラ3羽、シジュウカラ、メジロ（藤原寛治）。

蓮田市黒浜 ◇9月25日、東埼玉病院内でキビタキ♂♀、エゾビタキ、カケスの声。10月9日、同所でキビタキ♂1羽♀1羽（鈴木紀雄）。◇10月25日午前10時30分、コミミズクと対面した。農道の横、車から10mくらいの所にコミミズクが降りており、3～4分見つめあった。やがて、静かに飛び立って行った。初めて野生のコミミズクを見て大感激した。偶然にしては、あまりにも出来過ぎと感じた。それにしてもかわいらしかった（本多己秀）。

蓮田市笹山 ◇10月1日、稲刈後の田んぼでタシギ2羽、ムナグロ14羽。10月9日、同所でタシギ6羽、チュウジシギと思われるジシギ1羽、ノビタキ約5羽（鈴木紀雄）。

蓮田市城沼公園周辺 ◇10月7日、カケス6羽、屋敷林で鳴きながら枝移りしていた。今期はカケスが多い。10月18日、ジョウビタキ♀1羽、今季初認。農家の庭先の植え込みで尾羽を盛んに振っていた（長嶋宏之）。

上尾市瓦葺 ◇9月28日、県道大宮・栗橋線脇の遊水池でクサシギ、イソシギ、イカルチドリ、タシギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、ゴイサギ、コガモ、カワセミなど（鈴木紀雄）。

鴻巣市大間一丁目 ◇10月2日午前7時40分頃、どこからともなくジョウビタキの声。今季初認。早い！（榎本みち子、榎本瑞穂）。

川島町小見野 ◇10月5日午後2時30分、河川敷でノゴマ♂1羽。土手のすぐそばの木でポーズをとってくれ、すごい望遠レンズを付けた多数のカメラの前で長時間サービスしていた。そこにいた人の話では♀も出ているとのことだった。たまたま自転車で通りかかったら土手の上に車がたくさん止まっているので、もしかして珍しい鳥かと近づいたら、すぐに見られてラッキーだった（森本國夫）。

戸田市彩湖 ◇10月5日、アジサシ幼鳥5羽、スズガモ♂2羽♀2羽、ヒドリガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、キンクロハジロ、セグロカモメ（海老原美夫）。

川口市西新井宿 ◇10月13日、エナガ10羽ほどの群れ。メジロ・シジュウカラと混群を形成していた。カケス、森の中から特徴的



サメビタキ 9月23日秋ヶ瀬公園（編集部）

な声が聞こえた。去年は個体数が少なかったが、今年は多そうだ。ノビタキ当地初確認。草刈が行なわれた荒地の杭の上に止まっていた（須崎聡）。

滑川町武蔵丘陵森林公園 ◇10月16日、カケス6羽、カラスに追われて林の中を飛び回っていた。エナガ10羽±、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ混群あり。ヤマガラ数羽がエゴノキの実を次々に採取してどこかに運んでいた。貯蔵しているのだろうか。数羽のガビチョウが騒がしく鳴いていた。10月21日、カイツブリ2羽、ダイサギ20羽±、アオサギ1羽、カワウ多数。マガモ（エクリップス）3羽、コガモ（エクリップス）4羽、オナガガモ♀1羽、カワセミ2羽、オオバン1羽、ハクセキレイ2羽、セグロセキレイ1羽、タシギ1羽、チョウゲンボウ1羽（長嶋宏之）。

さいたま市桜区荒川総合運動公園 ◇10月23日、シメ1羽、今季初認。オオタカ1羽、チョウゲンボウ3羽、トビ1羽、モズ4羽、カワセミ1羽、ヒバリが空高くさえずっていた（中里裕一）。

羽生市羽生水郷公園 ◇10月28日、ヨシガモ♂4羽、♀2羽、マガモ20羽±、コガモ（エクリップス）多数、カルガモ多数、アオサギ3羽、ゴイサギ幼鳥13羽、カワセミ1羽（長嶋宏之）。

表紙の写真

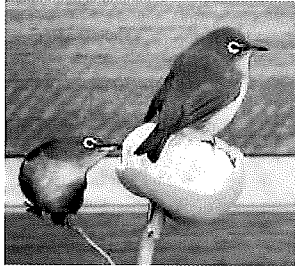
カモ目カモ科マガモ属ヨシガモ

2007年12月2日 戸田市彩湖にて

寺添捨男（さいたま市）



行事案内



メジロ (阿部義裕)

ご注意：特に風が吹くと体感気温は一気に下がります。すべての探鳥地で、防寒対策をしっかりと。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月6日(土)

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前
または午前8時30分、中央エントランス
駐車場

交通：東武日光線新越谷 7:20→春日部 7:35
→栗橋 7:55→柳生 8:05 着。または JR 宇
都宮線大宮 7:07→栗橋 7:40 着で、東武
日光線乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：内田、橋口、玉井、田邊、四分一、中
里、小林(正)、植平、山田(東)

見どころ：谷中湖のカモ類、遠いところの識
別度を高めるのも楽しみのひとつ。浮島
上空を飛ぶチュウヒのタイプやミサゴの
色合いなども楽しみです。水鳥、小鳥、猛
禽類・・・50種を超えるかどうかは皆さん
の目と耳しだい。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月7日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前から
北里メディカルセンター病院行きバス

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申
し込みの必要はありません。初めての方も、青
い腕章の担当者に遠慮なく声をおかけくださ
い。私たちがあなたを探していますので、ご心
配なく。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生
50円、一般100円。持ち物：筆記用具、雨
具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの
観察用具も(なくても大丈夫)。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後
1時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を
使って、集合場所までお出かけください。

8:31 発で「自然観察公園前」下車。

担当：浅見、岡安、大坂、内藤、島田、立岩、

永野(安)、永野(京)、山野、長谷川

見どころ：石戸宿の定例としての探鳥会は、

1991年12月1日が第1回でした。以来
17年間、12月は一度の中止もなく、63
種類(1回あたりの平均では34種類)も
観察されています。12月の常連はジョウ
ビタキ、ツグミ、カシラダカ、アオジな
ど。それにプラス、期待できるのはルリ
ビタキやベニマシコなど。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

<見沼ヘルシーロードコース>

期日：12月7日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園
駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口バス乗り場から、東川口駅
北口行き8:37発で、「念仏橋」下車。

後援：浦和くらしの博物館民家園

担当：伊藤(芳)、手塚、工藤、倉林、若林、
新井(勇)、赤堀、須崎、藤田(敏)

見どころ：さあ、冬鳥たちの本番到来！ ツ
グミやジョウビタキなど、山野の鳥を中
心に見ていきます。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月13日(土)

集合：午前9時30分西武狭山湖線西武球場前

駅前。

交通：所沢 9:05 発→西所沢 9:08 着、狭山線
乗換 9:13 発→西武球場前 9:19 着

担当：石光、長谷部、久保田、高橋(優)、持丸、小林(ま)、水谷

見どころ：湖面が水鳥で賑わう狭山湖の季節
がやって来ました。主役のカムフライ
ツブリは今年何羽来るかな？ シーズン
初めは移動中の珍客が立ち寄ることも多
く、ねらい目です。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月14日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷 9:09 発、または寄居 8:4
9 発に乗車。

担当：榎本(秀)、森本、中里、大澤、倉崎、
高橋(ふ)、後藤、藤田、栗原、飛田、新
井(巖)、千島、鶴飼

見どころ：寒さも厳しさを増し、冬鳥たちも
勢揃い。北風に負けないで大麻生の野道
を歩きましょう。

さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月14日(日)

集合：午前8時35分、東武野田線岩槻駅前。

集合後バスで現地へ。または午前9時、公
園の国道16号線側駐車場。

交通：東武野田線大宮 8:18 発柏行き、または
春日部 8:18 発大宮行きで岩槻下車。

担当：長野、吉安、玉井、田中、石川、長嶋、
榎本(建)、野村(弘)、小林(善)

見どころ：公園付近の林、アシ原、水辺で冬鳥
を探します。昨年の探鳥会ではアリスイ
ヤカワセミなど30種が確認できました。
ルリビタキ、ベニマシコ、アカハラ、シロ
ハラなどにも期待しましょう。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月17日(水)

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前
または午前8時30分、中央エントランス
駐車場

交通：東武日光線新越谷 7:20→春日部 7:35

→栗橋 7:55→柳生 8:05 着。または JR 宇
都宮線大宮 7:07→栗橋 7:40 着で、東武
日光線乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：玉井、大坂、楠見、田中、植平、松村
見どころ：渡良瀬のベストシーズンだから、

月に2回開催。この日は平日探鳥会。湖
面のカモやカイツブリの群れ、アシ原の
チュウヒ、枯れ草の中の小鳥たち、出演
予定の役者は多彩です。素晴らしい一日
になるでしょう。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月20日(土)

集合：午前9時30分、森林公園南口前。

交通：東武東上線森林公園駅北口から、立正
大学行き 9:10 発バスで「滑川中学校」
下車。ひとつ手前の「森林公園南口入口」
は通過してください。

費用：参加費以外に入園料400円(子供80円)
担当：喜多、内藤、佐久間、岡安、藤掛、青
山、後藤、山田(義)、高橋(優)、高橋(ふ)、
藤沢、中村(豊)

見どころ：今年はどんな冬鳥に会えるでしょ
う？ 山田大沼まで歩きます。

ご注意：バスの時刻と下車する停留所にご注
意ください。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月20日(土) 午後3時～4時ころ

会場：支部事務局108号室

ご案内：『しらこぼと』を早く見たい方、作業
終了後、取りとめもなく野鳥の話を交わ
りたい方、お集まりください。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月21日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東
口。集合後バスで現地へ。または午前9
時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、倉林、渡辺、若林、小菅、
赤堀、新部、青木、増田、宇野澤、須崎、
舟木

見どころ：三室の探鳥会に参加しないと年越しができないと、毎年言われる。忙しい年末こそ、仲間に会って……そう、鳥たちも勢揃いして待っています。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：12月21日(日)

集合：午前9時、加須はなさき公園駐車場。
交通：東武伊勢崎線春日部8:21→久喜8:34→花崎8:41着にて下車、駅から徒歩約10分。またはJR宇都宮線大宮7:57→久喜8:23着で東武伊勢崎線に乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：青木、中里、長嶋、宮下、四分一、栗原、内田、植平、長谷川、小林(正)

見どころ：冬鳥を探しながら、公園の内外を歩きます。木立の葉が散って小鳥を見やすいし、池にはカモの仲間。初心者大歓迎です。

年末講演会

期日：12月23日(火・祝)

会場：さいたま市民会館うらわ705・706集会室

交通：浦和駅西口から、県庁通りを県庁方面に進み埼玉会館の角を右折、寺院を通り越して左側、徒歩約10分。

入場料：100円(中学生以下無料)

開場：午後1時

第1部：午後1時30分～2時15分
ビデオで振り返るこの1年

第2部：午後2時30分～4時30分

講演「フィールドガイド日本の野鳥増補改訂版制作に携わって」

講師 谷口高司氏(野鳥イラストレータ、日本野鳥の会評議員)

原画パネルを見ながら、偉大な先輩、故高野伸二さんの原画200種近くに加筆した経緯や心境を語っていただきます。その後、著書「たまご式」鳥絵塾」を元に、シラコバトを描いてみましょう。2Bの鉛筆、消しゴムを持参ください。

懇親会：講師を囲んで浦和ワシントンホテルで、会費4,500円。葉書で

橋口長和へ、メールまたは直接橋口へ、12月20日までに事前申し込みをお願いします。

幸手市・宇和田公園探鳥会

期日：12月28日(日)

集合：午前8時30分、宇和田公園駐車場。
交通：東武伊勢崎線東武動物公園東口から、境車庫行き8:05発バスにて「上宇和田」下車、北の方向に徒歩約5分。

担当：中里、宮下、四分一、栗原、植平、小林(正)

見どころ：人影もまばら、静かな公園を、1年間楽しませてくれた鳥たちへの感謝を込めながらゆっくりと歩きます。植物園では小鳥たち、見上げる空にタカ類を探しましょう。今年最後の探鳥会です。

茨城県・平潟温泉探鳥会(要予約)

期日：1月31日(土)～2月1日(日)

集合：31日午前7時50分、JR大宮駅西ロソニックシティ大ホール前広場。

交通：往復とも貸し切りバスを利用。

解散：1日午後4時30分頃、大宮駅西口。

費用：25,000円の予定(1泊2食付き宿泊費、1日昼食代、保険料を含む)過不足の場合は当日精算。参加人員により費用の増減があります。

定員：21名(当支部会員限定、最低催行人員16名)。

申込み：往復はがきに、住所、指名、年齢(保険に必要)、性別、電話番号、喫煙の有無を明記して、

橋口長和まで。

担当：橋口、榎本(秀)、田邊、玉井

見どころ：溜沼でカイツブリ類、カモ類を探し、大洗に出て北上、アビなどの海鳥を探します。宿では鮎鱈鍋と温泉で疲れをいやし、翌日は福島県の漁港を巡りクロガモなどの海ガモ、カモメ類を見ます。

宿泊：男女別の相部屋です。個室の用意は出来ません。宿は平潟温泉「かんき」。



行事報告

5月6日(火、休) 蓮田市 黒浜沼

参加：64名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ オシドリ カルガモ キジ バン コチドリ ムナグロ イソシギ タシギ コアジサシ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) スタート間もなく、元荒川の岸辺に泳ぐオシドリを見つけてくれる。次に田んぼに入ると小さな群れながらムナグロが見られる。後からコアジサシも出てくれ、一安心。キジは順光を浴び、いっそう色鮮やかで、みなさん喜んでくれる。最近、この時期によく見られたシラサギの仲間やシギ・チドリ類の飛来数が少なくなっているのが気になる。(田中幸男)

5月9~11日(金~日) 東京都 三宅島

参加：25名 天気：雨、台風

クロアシアホウドリ オオミズナギドリ アカアシミズナギドリ ハシボソミズナギドリ ウ科不明種 ダイサギ コサギ アオサギ ミサゴ コジュケイ オオバン ウミネコ アジサシ カラスバト キジバト コゲラ ツバメ ヒヨドリ ミソサザイ コマドリ アカコッコ ウグイス イイジマムシクイ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ハシブトガラス (30種) 目的の鳥はほぼ見聞きできたが、2007年同様風雨が強く、伊豆岬灯台周辺に生息するウチヤマセンニュウの観察は断念。アカコッコ館周辺と新鼻荘の餌台に来る野鳥の定点観察に止まったので、2007年6月にリニューアルオープンした温泉「ふるさとの湯」で冷えた身体をリフレッシュ。が、行きはよいよい、帰りはこわいのたとえのように、11日朝は女将さんに4:30に起こされて大騒ぎ。八丈島へ行って戻りに三宅島に寄るはずの船が、台風2号接近の影響で急遽東京港竹芝桟橋へ引き返すことになり、14:20の予定が

6:30出港になった。新鼻荘を5:30に出発し、早朝探鳥会の予定だった時間に帰ることになった。船内で朝食のお弁当を食べたが、出港後間もなく5~6mの波が押し寄せて船は大揺れ。いつの間にか船酔いしていた。東京湾の近くになって、オオミズナギドリやクロアシアホウドリが観察できた。探鳥会は時間短縮となったが、延泊しないで無事帰れたことが何より。やれやれ。(藤掛保司)

5月11日(日) 熊谷市 大麻生

参加：8名 天気：雨

カワウ キジ バン キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス セッカ キビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (23種) (番外：ガビチョウ) 少し肌寒い小雨の中を出発。駅前ではツバメが数羽飛び回り、電線に止まったセグロセキレイが、近くで巣作りしているのか、あたりを見回している。最終地点の「野鳥の森」の沼ではバンが巣材を運ぶ姿がよく観察できた。ただいま大麻生の野鳥たちは繁殖に追われているようで、探鳥会参加者たちには、まさに我関せず。(後藤康夫)

5月17日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：8名

海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、後藤康夫、佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、松村禎夫

5月17日(土) 加須市 加須はなさき公園

参加：40名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ キジ コアジサシ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) (番外：ドバト) 暑い中をスタート。鳥達は囀り、子育て真っ最中。カラスは高圧電柱に巣を作り抱卵中。スズメは街灯に巣を作って餌を与えていた。オナガは巣材を加え、オオヨシキリはアシや樹上でメスを呼び、セッカは「ヒッヒッ! チャッ チャッ!」。特にこの時期の鳥たちは子孫を残すため必死な感じが

する。自然界では育たないのが当たり前、わずかに残ったものだけが今こうして飛び回り子育てをしていることを感じる時期だと思った。下見では見られたシラコバトが出なかったのは残念。探鳥会終了後、U氏のデジスコ講座を開催した。

(青木正俊)

5月17～18日(土～日) 秩父市 三峯神社

参加：20名 天気：濃霧

ジュウイチ ツツドリ アオゲラ アカゲラ コゲラ キセキレイ ヒヨドリ ミソサザイ コルリ クロツグミ ヤブサメ ウグイス センダイムシクイ キビタキ オオルリ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ ウソ イカル カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(26種) 17日夕刻三峯神社に集合。宿坊にチェックイン後、境内を散策しながら鳥影を追う。ツツドリの声はするがなかなか見えない。夜は、麓の大滝温泉から運んだという温泉につかり、翌日に期待。18日朝4時に起床し外に出るが、あいにくの濃霧で見通しがきかない。声を頼りに探し回ると、キビタキなどが藪の間で見え隠れしている。朝食後は霧も少し薄くなった気がしたが、10時過ぎに解散。下界に降りて見上げると、三峯は雲の中だった。

(橋口長和)

5月18日(日) さいたま市 三室地区

参加：52名 天気：晴

カイツブリ カワウ カルガモ キジバン コチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(27種) カッコウは出現しなかったが、桜並木の木陰には初夏の風が吹いていた。コゲラやメジロ、シジュウカラが斜面林で遊んでいた。芝川でカワセミ、田んぼではキジがじっくり観察出来て、楽しい探鳥会だった。

(楠見邦博)

5月24～25日(土～日) 長野県 戸隠高原

参加：30名 天気：両日も曇一時雨

カイツブリ アオサギ オシドリ カルガモ ハチクマ トビ ノスリ キジ キジバト アオバト ジュウイチ カッコウ ツツドリ ホトトギ

ス フクロウ アマツバメ アオゲラ アカゲラ オオアカゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ サンショウクイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ コルリ トラツグミ クロツグミ アカハラ ウグイス オオヨシキリ センダイムシクイ キクイタダキ キビタキ コサメビタキ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ メジロ ホオジロ ノジコ アオジ クロジ カワラヒワ イカル ニュウナイスズメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(56種) 天気予報は2日も雨。戸隠探鳥会史上初。良い方に外れることを期待して、飯綱高原での探鳥を取りやめ森林植物園へ急ぐ。支部長ご推薦のオオアカゲラの観察場所へ行くと姿を見せない。とりあえず、アカゲラ、クロツグミ等を観察して鏡池までのコースを進む。鏡池でオシドリを観察後、昼食と記念撮影。その後、雨がぱらつきだしたが、ここまでもってくれば御の字である。再び植物園に戻って、無事にオオアカゲラも見ることができた。夜中はかなりの雨量、植物園の早朝探鳥はあきらめた。起床時間を遅くした。雨も小降りになったので、宿周辺を散策。雨上がりの空気がすがすがしい。朝食後、植物園へ赤い鳥を期待して繰り出すが、声も聞くこともできず少々がっかりしていると、フクロウの情報をいただく。ひさしぶりに戸隠でフクロウと対面できた。

(菱沼一充)

5月25日(日) 狭山市 入間川

参加：7名 天気：雨後曇

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ キジ イカルチドリ イソシギ キジバト ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ セッカ シジュウカラ ホオジロ スズメ ムクドリ オナガ ハシブトガラス(21種) 探鳥会は、基本的には小雨決行だが、今回の雨はやや強めでかなり迷った。しかし、参加者の皆さんが十分な雨対策をしていたことと、人数が少ないので全員に目が行き届くと考え、コースを短縮して行うことにした。幸い後半には雨も上がり、オオヨシキリやセッカの囀り、イカルチドリやイソシギの姿を楽しむことができた。探鳥会は、安全第一。たとえ小雨でも場合によっては中止になることもある。どうぞご理解ください。

(長谷部謙二)



● **ご注意、ただ今狩猟期間中!!**

毎年 11 月 15 日から翌年2月 15 日までの日の出から日没までは、狩猟免許があるものが所定の手続きをとり、所定の方法で、狩猟鳥獣に限り狩猟できると、法律で定められています。

銃口の先を十分確認しないままで発砲し、狩猟とは無関係の人が死傷する事故が、例年全国で発生しています。銃猟が行われている地域では、見通しのきかない藪の中での鳥見は避けましょう。目立つ服装で、道路など、目立つ場所にいるように。猟犬に噛まれる危険もあります。そもそも銃声の聞こえる地域からは鳥たちも逃げ出しているはずと考え、近寄らない方が良いでしょう。

わなでの負傷事故もあります。銃声が聞こえなくても、足元など、周囲に十分気を配ってください。

● **日本野鳥の会カードで野鳥保護**



(株)オリエンコーポレーションと提携している日本野鳥の会カードは、利用金額の 0.5% がオリコから財団本部に寄付されます。カード利用者の獲得ポイントなどには一切影響ありません。まさに手軽な自然保護活動です。

この方法での寄付金額は平成 19 年度 9,218,539 円。小冊子や図鑑の発行、人材育成、野鳥

保護区の保全、調査研究など、幅広く役立てられました。

年会費(税込)1,312 円(初年度無料)。JCB カワセミ、MasterCard アカゲラ、VISA キビタキ、国際カード3種類の中から選べます。

申し込み用紙の取り寄せは、オリコカードセンター TEL.049-271-3330 へどうぞ。財団本部ホームページの「ご寄付」からリンク、オンラインでも申し込みできます。

● **会員数は**

11 月 1 日現在 2,216 人です。

活動と予定

10 月 11 日(土) 11 月号校正(海老原美夫・大坂幸男・志村佐治・藤掛保司)。

10 月 19 日(日) 役員会(司会:浅見徹、各部の報告・来年 1~4 月の行事予定・事務局賃貸借契約の更新・その他)。

10 月 22 日(水) 「支部報だけの会員」に向けて 11 月号を発送(倉林宗太郎)。

● **事務局の予定**

12 月 6 日(土) 編集部・普及部・研究部会。

12 月 13 日(土) 1 月号校正(午後 4 時から)。

12 月 20 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

12 月 21 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

越谷市の生き物調査に参加している。が、越谷市内でも安定してシラコバトを観察できる場所は、まずない。どこに行ったシラコバト! (山部)

10 月号「野鳥情報」、ヨシゴイを防鳥ネットから救出した話。声をかけたらおとなしくなったそうですが、何を言ったのでしょうか? もしかして「酒のツマミにしちゃうぞ」って? (小林)

しらこぼと 2008 年 12 月号(第 296 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://35.tok2.com/wbsjsaitama/>
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番 23 号 丸和ビル
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社